

ろくおん通信

9月号

第1号 1986. 9. 10発行

盲人情報文化センター
録音製作係

ろくおん通信発行にあたって

村井 晶人

朝夕、風の涼しさに秋の気配を感じられる時期となりました。

今年度当初から予定しておりました、『ろくおん通信』の第1号をようやくお届けできることになりました。

ご周知の通り『ONE BOOK ONE LIFE』は全てのボランティア活動をされている方々を対照としています。したがって、今まで係としては、係固有の問題、あるいは技術的な問題を深く掘り下げ、皆さんにお伝えする手段が無い状態にありました。このため、係よりの連絡の不徹底により皆様にご迷惑をおかけしましたことを紙面を借りてお詫びいたします。

今後はこの紙面を生かし、係よりの連絡、報告、音声訳技術、あるいは皆さんの意見交換の場として活用したいと考えております。よりよい紙面作り

のために是非皆さんのご協力をお願いいたします。



▲ 第16回 鉄道弘済会地区表彰
重村さんが授賞されました。

校正の仕事をとおして

ふるまじとまりこ

古谷穹子

音訳であれ、校正や編集であれ、長い経験をお持ちの方々には自明の事柄ばかりやもしれませんが、これから出発なさろうというの方々には何かのアドバイスになり得るかと思ひ、はじめでの校正をした感想をまとめました。

まだ音訳2年目で、テープレコーダーを扱う指先が少しは自分の思う通り動き出したばかり、スタジオの外の仕事がようやく視野に入り始めたところです。

校正はされる側であった私にとって、する側に回って見ると、そこには色々の発見や教訓がありました。私はスタートからペア録音をしています、ペアの内々でこっそり処理し得たケアレスミスや、比較的初歩的な、誰にでも起こり得る思い込みによる読み間違いが、単独録音の場合には“改めて訂正”という煩雑さを引き起こすことはとても残念だと感じます。ペア録音は各人の種々な条件の調整が非常に困難ですし、能力やキャリアの差によって一律に実施しにくい現状でしょうが、平均的な音訳者にとってはペア録音はいいテープづくりの基礎ではないかと思ひました。

次に音訳者がファイルにつける「調査用紙」の伝えてくれるものが如何に大きいかということです。はじめのうち私達三毛の会の仲間は、マニュアルの指示通り調査用紙に記入する際、自分達にとって取り上げるべき事項が、先輩の校正者にとってはその必要のないほど、知っていて当然という、いささか自分達の無知を暴露する行為でありはしないかというためらいがありました。しかし平均的な音訳者が「アレッ」と思う事項は、平均的な校正者にとってもやはり「アレッ」であると思ひます。ですから、特殊なもの、難解なもの、固有名詞は勿論のこと、音訳の段階で疑問や迷いを持って辞書にあたった事項はなるべく調査用紙に記録することが、校正者や編集者の再調査の無駄をどれだけ省くことになるか、また音訳者に対する信頼感を育てるのにどれだけ役立つかと実感します。そして忘れっぽい私のような人間にとっては、“とにかく記録しておくこと”の安全性は捨て難いのです。

記録しておくといえ、原本への色々の書き込みは一音訳者の覚え書きにとどまらず、後になって種々のチェックの際、これ又どれだけ労力と時間を省く助けになるかということも知りました。例えば、息つぎを示すスラッシュ

ユバア1本が、文脈を変えるほど重要性を持っていることもありますし、音訳者当人が不在でもその意志を代弁してくれる証処物件にもなり得るわけですし……。書き込みは消さないでそのままにして原本の一部として保存したいというICCBの意見は当然なのだと思います。

3番目に、最初の録音段階での仕上がり、ほぼそのテープの良否を決定づけてしまうということ。これは考えてみると音訳者にとって怖いほどで如何校正者や編集者が優れていようとも、訂正箇所が多いテープは所詮つぎはぎで、美しい流れを持ったテープにはなりにくいようです。こういう技術上の問題について無知だったとはいえ、私の第1冊目の蔵書など、今となれば汗顔の至りといったところです。音訳の初心者の心理として、校正者や編集者は少々の不都合は巧くカバーしてもらえる万能の方達のように見えていたのも事実でした。改めて思うことは、自分が今手にしている仕事を出来うる限り完全に近づけようとする、その努力を自分に常に強いなければならないということ……まずそれが第一歩。しかしその努力にも拘らず、私達の能力にはそれぞれに限界があり、凹凸もあるわけで、その各人の不完全性をジ

グゾーパズルのように埋め合うこと、そこにICCBが組織として機能する大きな利点があるのだとおもいます。私達三毛の会の仲間は、ICCBが既に種々の仕事をライン化し、責任の所在を明確にし、マニュアルを作成し、事務処理をルーティン化し、といった非常に恵まれた段階で音訳の仕事に参加しました。長年にわたる多くの方々の地道な努力や、種々な試行錯誤の果ての実りを私達は享受しているわけです。そして現段階では、個々人が一種職人芸に似た緻密さと誇りを持って仕事を仕上げるのが望まれる一方で、ようやく形を整えつつある組織を、一層機能的に働かせるために積極的に努力することもまた、私達に望まれることではないかと思えます。卓越した人々の存在は素晴らしいけれども、例えそういう方達がたまたま不在でも、多くの平均的人間がこなし得るように仕事組織化されていれば、生身の人間としては或る意味で余裕も生まれはしないでしょうか。

経験の浅い者の部分的な感想に過ぎません。何かの折りにでも御意見や御批判を頂きたいと思っています。

☆お知らせ

(株) 関西電力よりスタジオ録音機、およびコピー設備をご寄贈をいただきました。ようやく機器の不調による、録音不良から解放されると、一同喜んでいきます。

機器の変更にともない、スタジオ録音および編集に次の変更を行いましたのでご注意ください。

1. 録音速度 (スタジオ、編集)
2. テープの折り返し (スタジオ)
3. 編集と編集後のマスターテープ製作の工程

※ 詳細は職員におたずね下さい。

☆個人ケアについて

新しい本 (蔵書、リクエスト図書) にとりかかる前に、個人ケアを受けていただくようお願いしております。時間は一人30分～1時間程度です。予約は電話で出来ますので係までご相談下さい。9月10月の予定は下記の通りです。

9.27 (土)	2:00～5:00
9.30 (火)	4:00～5:00
10. 7 (火)	3:00～4:00
10. 8 (水)	3:00～5:00
10.11 (土)	1:30～5:00
10.21 (火)	2:00～5:00

☆月例研究会のご報告

『文藝春秋』1986年7月号に掲載された「全国の斎藤さんへ」を教材に処理の問題を話し合った。

「斎」と「齊」の違いを音声化しなければならない箇所が随所に出てくる。実際に録音されたテープを流し (3名のテープ)、検討した。

どこまで音声訳者注を付け加えるか、耳で聞いて判るか、テープ図書の宿命ではあるが、難しい問題である。

☆10月の月例会のご案内

10月より読み方の例会と録音技術の例会を分けることになりました。

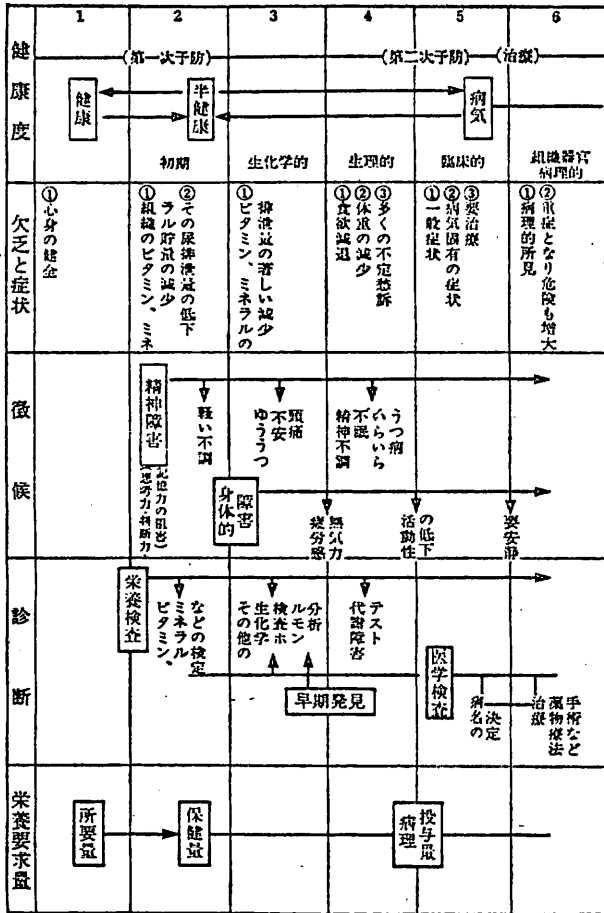
読み方の月例会は第2火曜日の13:30～15:30。 録音技術の月例会は第1水曜日の13:00～15:00です。

10月の録音技術の月例会は「図表の処理」をテーマに取り上げる予定です。

原稿募集

皆さんが、日常の活動で疑問に感じていること。係に対する要望、ご意見。掲載された原稿に対するご意見。なんでも結構です。係までお寄せ下さい。

(X)



第19図 従来の医学と新しい医学との関連 (渡辺：1985)

(Y宅)

「日本の条件9 医療」 P 6 9

2 医療費増大の背景

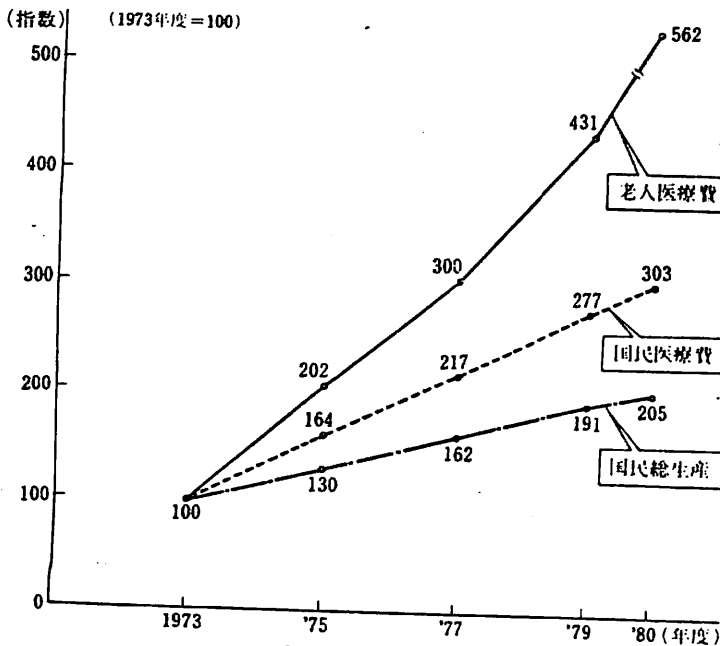
1・10 年齢階級別一般診療医療費

区 分	1980年度		対前年度比		
	推計額 (億円)	百分率 (%)	増加額		増加率 (%)
			推計額 (億円)	百分率 (%)	
一般診療医療費	105,349	100.0	8,306	100.0	8.6
0~14歳	9,611	9.1	332	4.0	3.6
15~44歳	29,832	28.3	1,069	12.9	3.7
45~64歳	32,906	31.2	3,080	37.1	10.3
65歳以上	33,000	31.3	3,825	46.1	13.1
(再掲) 70歳以上	24,047	22.8	3,098	37.3	14.8

(厚生省調べ)

(Y宅)

「日本の条件9 医療」 P 6 8



1・9 老人医療費等の推移

(厚生省調べ)

(メモ)

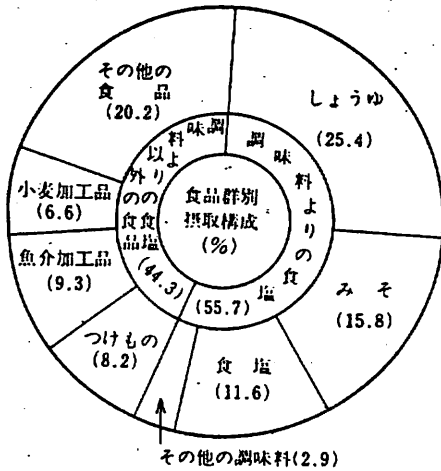


図9 食塩の食品群別摂取構成 (昭和57年国民栄養調査)

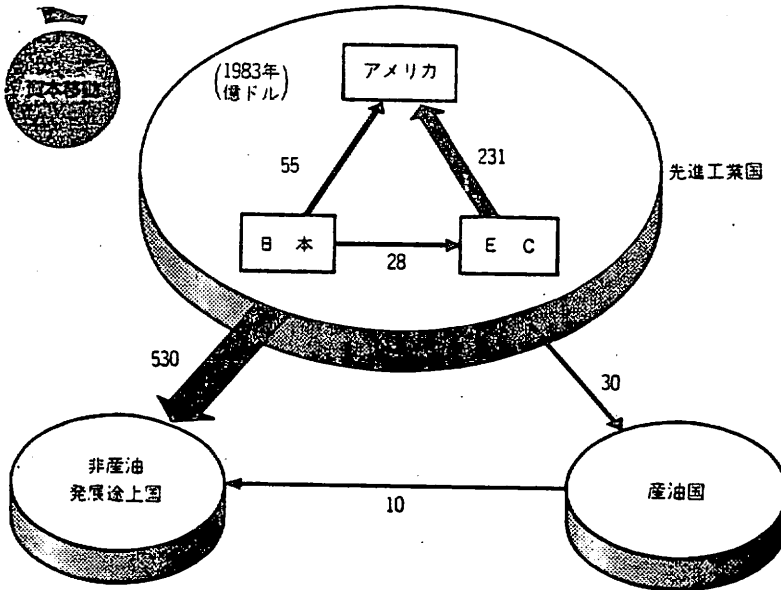
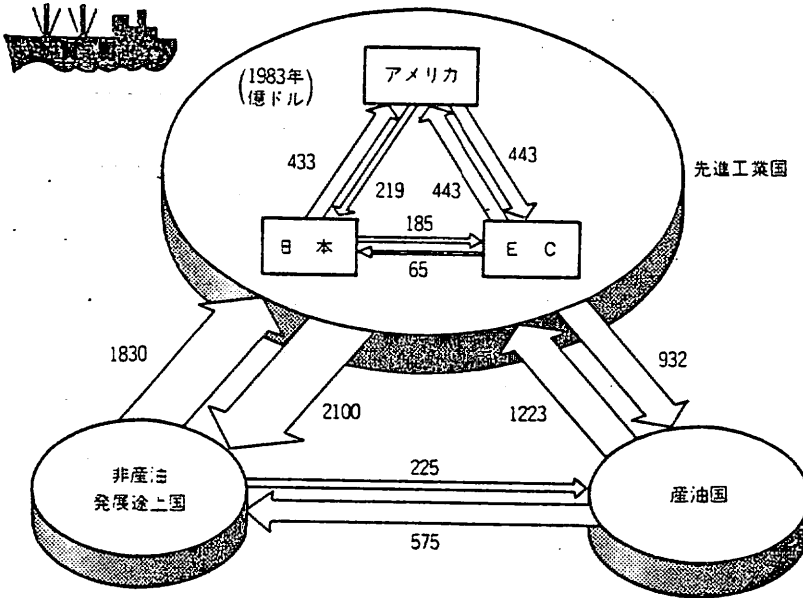
(メモ)

表5 コレステロールの少ない食品 (食品100g中, 単位mg)

食品	コレステロール量	食品	コレステロール量
魚介類		豆類・加工品	
タラ	27.6	うずら豆	0
ニシン	41.2	うぐいす豆	0
マグロ	38.3	なつとう	0
カツオ(生)	56.6	とうふ	0
カンパチ	37.5	焼きとうふ	0
アジ(生)	43.4	油あげ	3.2
		生あげ	0
水産加工品		おかもどき	0
かまぼこ	34.7	がみどき	0
さつまあげ	42.3	みそ	0
ちくわ(白)	9.8	ゆば	5.2
焼きちくわ	57.3	菓子	
はんぺん	36.7	塩せんべい	0
サーモンソーセージ	31.0	ねりようかん	0
肉類		乳類	
牛肉(しもふり)	38.3	ヨーグルト	16.0
とり肉(ささみ)	38.2	脱脂乳	16.2
豚肉(ロース)	31.1	油類	
穀類		天ぷら油	0
食パン	3.7	サラダオイル	0
バターロール	9.8	コーンオイル	0
うどん	0	卵	
中華そば	7.7	卵白身	0
インスタントラーメン	17.9		

■世界経済の相互依存関係は深まる一方、先進国が資金を貸しつけ生産財を輸出する。途上国はその生産財で消費財を生産輸出し資金返済に充てる

(Y/E)



資料：経済企画庁、昭和59年、世界経済白書。